



Bグループ



- ・ドイツの環境施策を参考に
- ・アメとムチ（人の行動原理を活用）
- ・企業誘致等産業も大切に
- ・経済発展との両立は本当に可能？
- ・行政・企業・個人 トリニティー
- ・温室効果ガスが市財政のプラスになる仕組み
- ・ポイント制度等、貢献に合わせた還元
- ・インセンティブの活用
- ・地域、世代に合わせた市政・法律
- ・自分の行動がどう「脱炭素社会」の実現に結びついているのかが分かりやすく示されるシステムがあるとモチベーションが上がるのでは？
- ・化石燃料と比較して、コストパフォーマンスが心配である
- ・脱炭素の意識の共有（多くの人々が参加する必要性）
- ・スピーディーな波及効果の実現
- ・楽しく参加できるシステムづくり
- ・その過程で生じる環荷（リチウム鉱山など）
- ・エネルギーの安定供給が実現できるか

- ・地球に負荷をかけないくらし
- ・豊かな山・川・海が残り、その恵みとともにくらす
- ・2050年、全く（に近く）環境に加害しない生活
- ・再生可能エネルギー100%の生活
- ・将来世代への暮らしやすい環境の実現
- ・ある程度の循環社会の実現
- ・「脱炭素社会」というワードで、具体的に何かをイメージできない現状です。とても大変そうですが、まず、自分にできることは何でしょうか？身近なことから取り組みたいと思います。
- ・がまんを強いることのない生活、の実現





<精心>

- ・いきいきと・安心（子ども孫） ・静かで穏やかな生活
- ・なんとかなると思う ・幸せて豊かな生活
- ・安心して暮らせる日常 ・平和・健康 2050年

<燃料>

- ・石油がどうなっているか
- ・エネルギーはたりているか 水力発電は
- ・蓄電池の家に住んでいる
- ・電気代がかからない（安い）生活

<移動>

- ・子ども CO2 フリーで移動の自由
- ・移動手段はどうか 自動運転は
- ・電気自動車はどうなっているか 電池は

<自然>

- ・緑のある生活 ・子どもを自然の中で遊ばせたい
- ・うっそうとした森⇒暮らしの一部

<気候>

- ・四季が感じられる生活 ・スキースノボはしたい
- ・空調のいらなくらし
- ・今より悪くない環境で暮らして欲しい

<ネット>

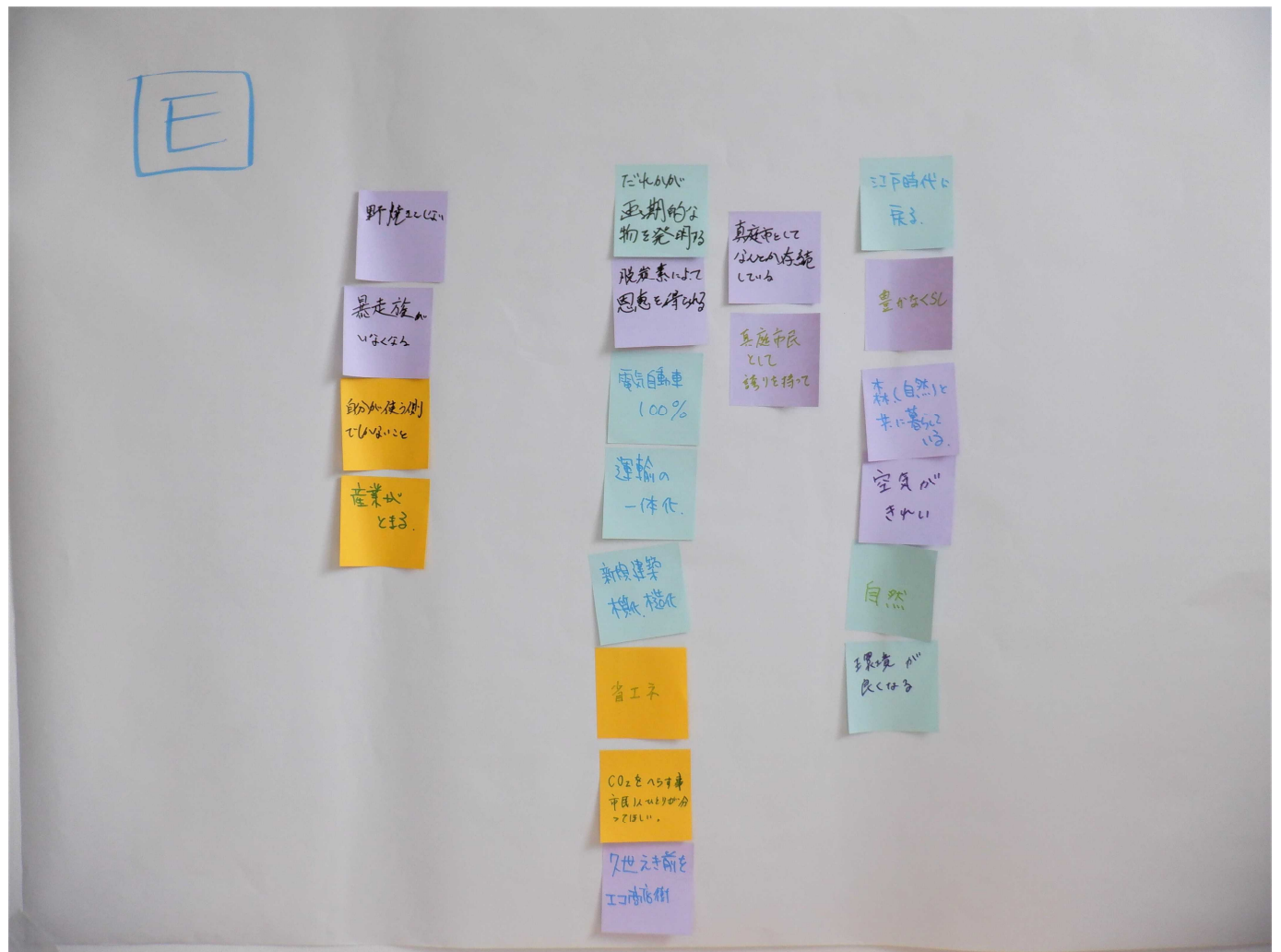
- ・ネットがどうなっているか 2050年
- ・メタバースよりリアル

<ビジネス>

- ・環境社会で新しいビジネスがたくさんできている

- ・できると思う ・空気がきれいになる
- ・温暖化ストップ ・地球が長持ちする ・CO2 削減
- ・イメージできない ・涼しい
- ・快適な暮らしができない ・地球がまにあうか
- ・人口減少 ・食料不足
- ・既存の経済に対する影響 ・資源不足

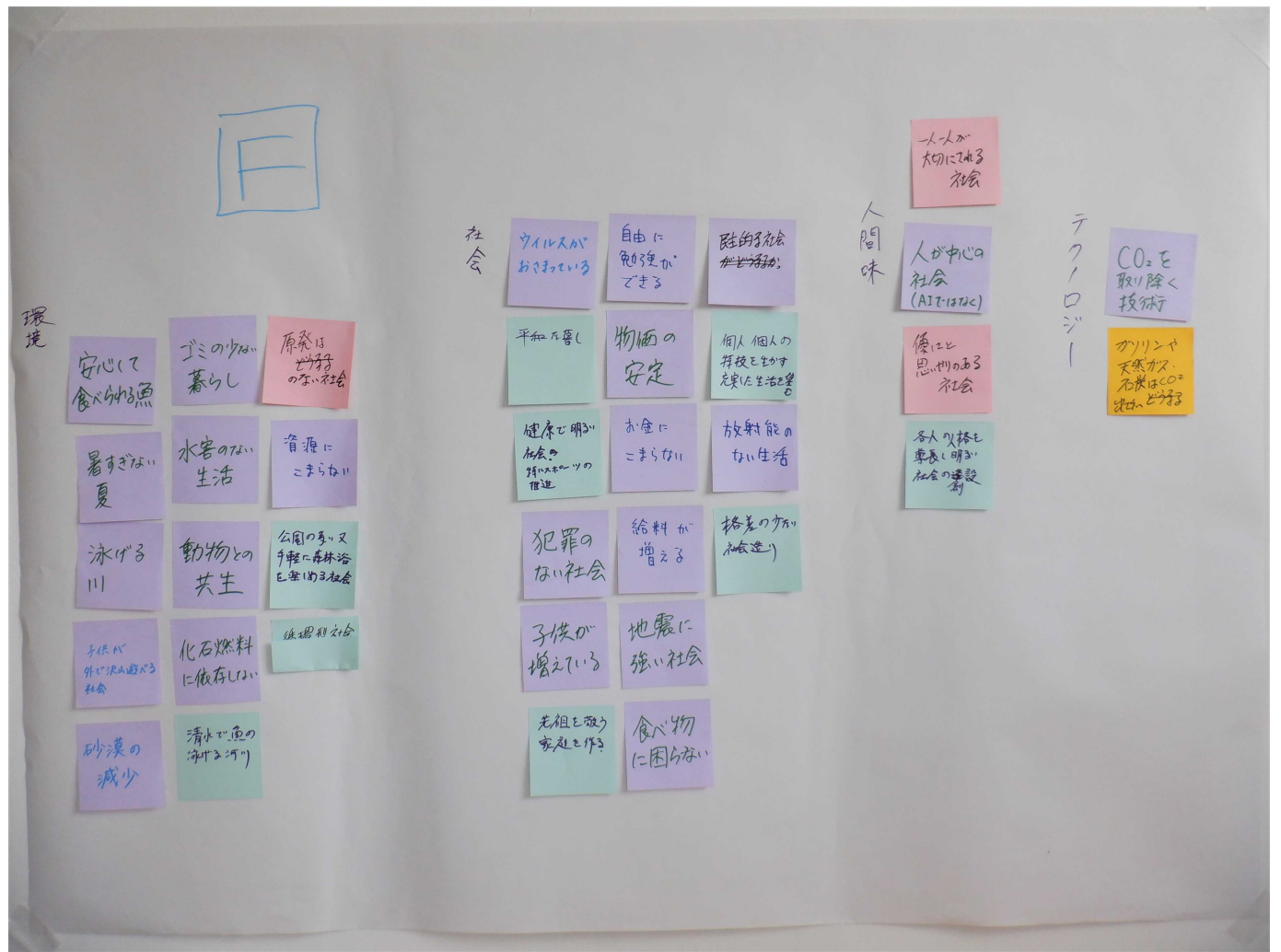
## E グループ



- ・野焼きしない
- ・暴走族がいなくなる
- ・自分が使う側でしかないこと
- ・産業がとまる
- ・だれかが画期的なものを発明する
- ・脱炭素によって恩恵を得られる
- ・電気自動車 100%
- ・運輸の一体化
- ・新規建築木質化、木造化
- ・省エネ
- ・CO2を減らす事 市民1人ひとりが分かって欲しい
- ・久世駅前をエコ商店街
- ・真庭市として何とか存続している
- ・真庭市民として誇りを持って

- ・江戸時代に戻る
- ・豊かな暮らし
- ・森（自然）と共に暮らしている
- ・空気がきれい
- ・自然
- ・環境が良くなる

Fグループ



<環境>

- ・安心して食べられる魚
- ・暑すぎない夏
- ・泳げる川
- ・子どもが外で沢山遊べる社会
- ・砂漠の減少
- ・ゴミの少ない暮らし
- ・水害のない生活
- ・動物との共生
- ・化石燃料に依存しない
- ・清水で魚の泳げる河川
- ・原発のない社会
- ・資源にこまらない
- ・公園の多い、また手軽に森林浴を楽しめる社会
- ・循環型社会

<社会>

- ・ウイルスがおさまっている
- ・平和な暮らし
- ・健康で明るい社会 特にスポーツの推進
- ・犯罪のない社会
- ・子供が増えている
- ・先祖を敬う家庭を作る
- ・自由に勉強ができる
- ・物価の安定
- ・お金のこまらない
- ・給料が増える
- ・地震に強い社会
- ・食べ物に困らない
- ・民主的な社会

・個人個人の特技を生かす充実した生活を望む

- ・放射能のない生活
- ・格差の少ない社会造り

<人間味>

- ・一人一人が大切にされる社会
- ・人が中心の社会 (AIではなく)
- ・優しさと思いやりのある社会
- ・各人の人格を尊重し明るい社会の創設

<テクノロジー>

- ・CO2 を取り除く技術
- ・ガソリンや天然ガス、石炭は CO2 出さない

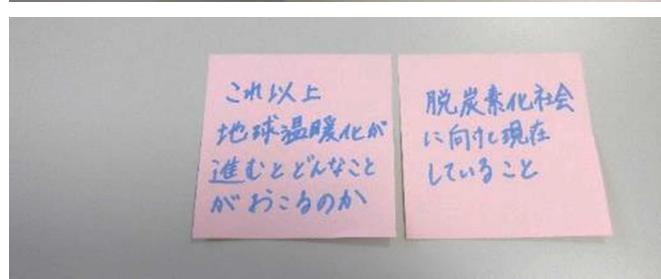
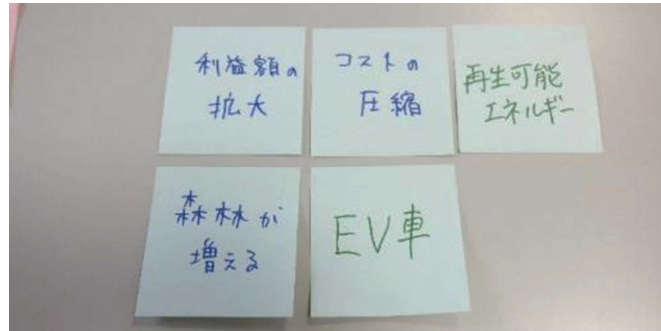
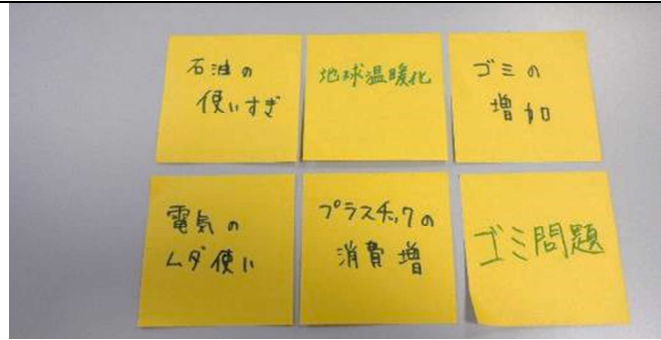
Gグループ



- ・クリーンエネルギー
- ・温暖化の抑制につながりそう
- ・地球温暖化の抑制
- ・補助金普及、周知
- ・具体的な目標設定・指標などはあるのか？
- ・真庭市のゴミの内訳と量、処理方法が知りたいです。リサイクルできるもののがかなりあるのでは？
- ・循環型の肥料の使いやすくないかをきいてみたい
- ・真庭市の食料自給率は？
- ・太陽光・EVの普及
- ・持続性
- ・現在、EVなどの脱炭素のために有効と思われる技術が生まれていますが、それが逆に環境に悪影響を与えないよう、配慮が必要
- ・電力発電の能力 供給力の不足、エネルギー資源の不足
- ・有機肥料のペレット化？
- ・有機栽培も慣行農法も
- ・昔の循環型社会のアップデート
- ・土壌分析も大切か
- ・とりあえず庭にタネをまけ！

- ・健康でなるべく楽しく暮らしてほしい
- ・あたたかい真庭 野菜くれる 元気
- ・64歳でも元気に仕事をしていたい
- ・昔のような自然と共生した生活を送りたい
- ・食料を市でまかなえる生産能力・人材が増えて欲しい
- ・都会では何でもお金で買わなければならない→田舎の方が自然を感じれて健康的
- ・家庭菜園の可能性+自給自足
- ・自給自足な社会
- ・寄りかかるのはイスの背もたれだけ
- ・なるべく地域で自給自足
- ・カーボンニュートラル程度では追い付かない状況なの？
- ・生命の否定と感じていませんか？
- ・自然共生社会の現代版が共創できる！

その他（模造紙には貼られていなかったもの）



- ・石油の使い過ぎ
- ・地球温暖化
- ・ゴミの増加
- ・電気のムダ使い
- ・プラスチックの消費増
- ・ゴミ問題
  
- ・利益額の拡大
- ・コストの圧縮
- ・再生可能エネルギー
- ・森林が増える
- ・EV車
  
- ・これ以上地球温暖化が進むとどんなことがおこるのか
- ・脱炭素化社会に向けて現在していること



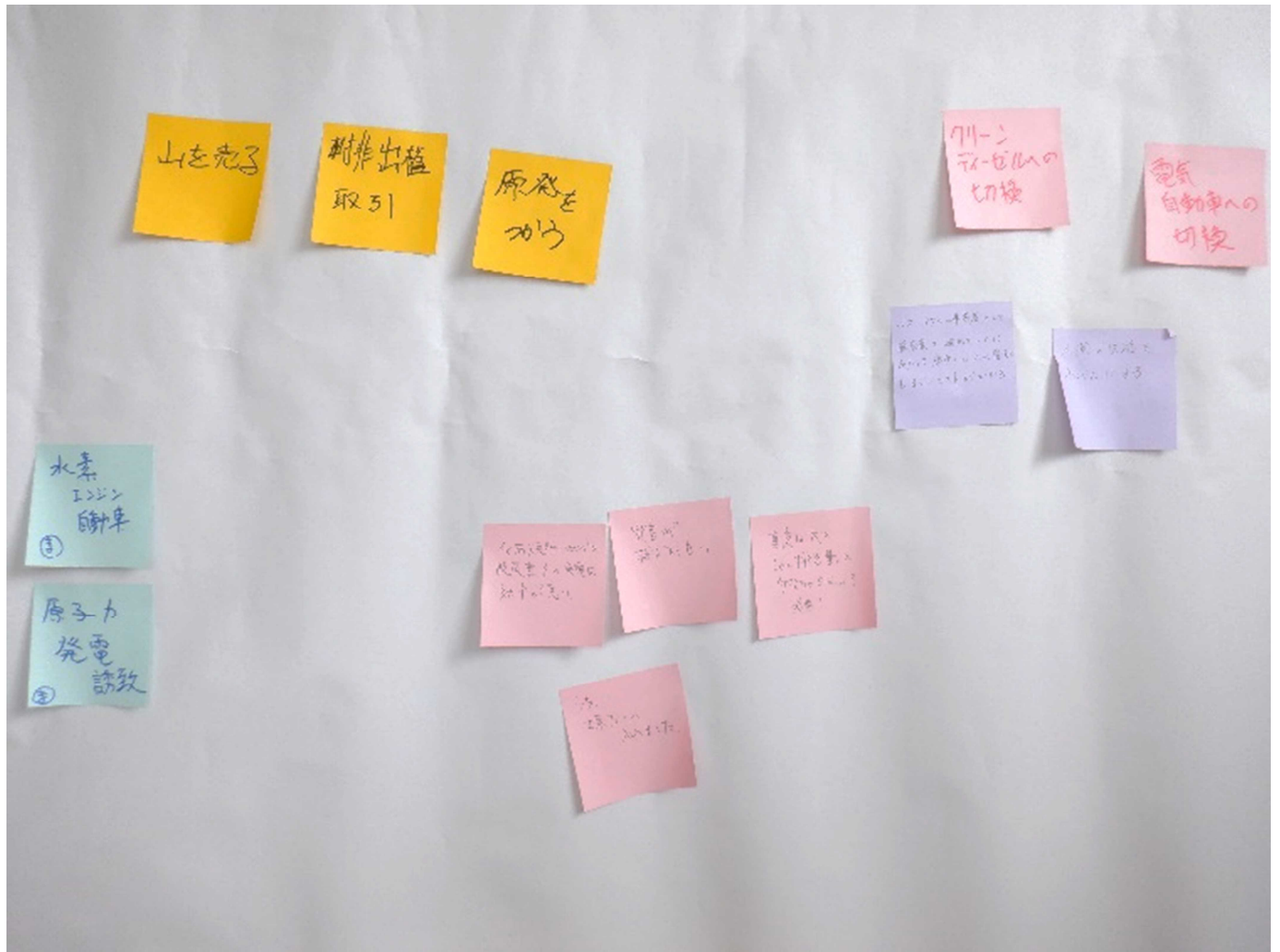
①グループ



- ・輸入資材・輸入飼料→真庭地域産資材・飼料でオールカパー
- ・木質ペレット真庭産→インドネシア産
- ・CO2 排出を極限までおさえられる和牛牧場×女性 若手エルダー
- ・皆が無理なく働くことができる和牛牧場
- ・お金かかるよね！
- ・「脱炭素×ビジネス」はお金がかかる（今は）
- ・電気受給の不足
- ・石油に変わる資源って？車をどう動かす
- ・ガソリンスタンドの拠点性を模索したい
- ・電気（バイオマス）でどこまでいける??
- ・会社どうなる??
- ・バイオマスと市民生活のギャップ??

- ・石油などに頼っている部分をどう補うか？補えるのか？
- ・本当に温暖化に効果があるのか？
- ・リサイクル業を始める
- ・モビリティビジネスの可能性

## ②グループ



- 山を売る
- 排出権取引
- 原発をつかう
  
- クリーンディーゼルへの切換
- 電気自動車への切換
- バス・タクシー事業者として脱炭素を進めていくにあたって車両の入れ替えにもすごいコストがかかる
- 人間の生活をふべんにする
  
- 水素エンジン自動車
- 原子力発電誘致
  
- 化石燃料に比べて脱炭素系の発電は効率が悪い
- 災害が減るなら良い
- 真庭はもともと CO2 排出量って少ないのでは…？ 必要？
- うち、エネファーム入れました